

ふるさと講座・自然系第2回目を開催しました。

初冬の野鳥観察会・ユキホオジロを観察しよう！

12月5日（土）野付半島にて初冬の野鳥観察会を開催しました。参加者は8名でした。

ネイチャーセンターで、この時期見られる渡り鳥を説明と先月実施されたコクガンの一斉調査の結果をお話いただきました。その後、野付半島先端に車で移動し、最終番屋から先端部を徒歩で歩きました。途中、オオハクチョウ・オオワシ・スズガモなどを観察することが出来ました。最終番屋に到着し、ハギマシコの群れを観察した後、徒歩で

半島の先端を目指しました。途中コクガン・オオハクチョウを観察。先端に到着するとユキホオジロの群れが飛び交いました。

また、野付半島に戻る途中に、シロハヤブサ・コチョウゲンボ・チュウヒなどの猛禽類が姿を見せました。（3種は希少種）天候も良く野付半島特有の素晴らしい景色が広がり、参加者を大いに喜ばせた観察会となりました。



ウィンタースクールを開催しました。

「化石のレプリカを作ろう！」

1月8日（金）ウィンタースクール「化石のレプリカを作ろう！」を開催しました。参加者は14名でした。

別海町で発見されたマンモスゾウの臼歯化石や人気のあるアンモナイトの化石のレプリカを作成しました。

マンモスゾウ臼歯化石はあらかじめ石膏で作成したものを整形する作業からはじめ実物を見ながらヤスリで削る作業を慎重に行いました。

アンモナイト化石は、シリコン製の型に自分で石膏を流し込みました。10分程度でかたまり、型からはずしヤスリなどで整形します。一部の参加者は着色を行いました。時間の都合上完成することは出来ませんでしたが、自宅で着色し冬休みの工作として出品するそうです。



「別海町の農業の変遷をたどるジオラマ」の展示！

(出前移動展)

1月12日(火)～28日(木) 東公民館(別海町尾岱沼潮見町72番地)にて開催しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

また、12月1日(火)～25日(金)まで、別海町役場1階ロビーに同ジオラマを展示させていただいたところ、ご感想をいただきましたので、下記のとおりご紹介いたします。



- ・ジオラマの完成まで相当な時間がかかったことと思います。とても細かく作り込まれていて、別海町の酪農の歴史を伝えたいという想いも感じられ、とても素晴らしい作品ですね。今にも動き出しそうですし、ずっと見ても、色々な発見があって飽きないです。
- ・すごい、細かい部分までリアルに作られていて素晴らしいと思います。開拓の頃の様子はセピア色の写真で見たものと同じ感じです。青い屋根の家は自分が小さい頃住んだ家によく似ていてとても懐かしく感じました。時代とともに移り変わっていく様がよく伝わってきます。本当に素晴らしい作品で見入ってしまいました。ありがとうございました。
- ・新聞で紹介されていたので見たいと思ってました。所用で役場に来て見ることが出来て感動です。これからも頑張ってください。
- ・どのジオラマも作品として素晴らしいだけでなく、別海を伝える伝道師として町外へどんどん発信してください。
- ・酪農の移り変わっていく様子が非常に良く分かりました。素晴らしいです。
- ・説明文だけではなく、こういったジオラマを利用しての解説はより効果があって良い事と思う。
- ・大変面白かったです。書類がおいてあっても普通の町民はみないと思いますが、ジオラマなら多くの人が足を留めて見るし、本町農業について関心を持つと思う。第2段を期待しています。

別海町郷土資料館だより No.198

発行日 平成28年1月12日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

新しい年が明け、気持ちも新たに思うところです。さて、今年は雪がほとんどありません。暖冬と言われておりますが、この先の天候が気になります。いきなりドカッというのは、やめてもらいたいところです。当館にとって良い1年を過ごせるよう努力したいと思います。(K.I)